

第12回 フレンドシップコンサート

~飯島藤十郎社主記念LLCホール公開演奏会~

開催日 2024年3月9日(土) 14:00 開演
会 場 山崎製パン総合クリエイションセンター内
飯島藤十郎社主記念LLCホール

指揮&Solo 三原 明人
演 奏 市川交響楽団

主 催 市川交響楽団協会
協 賛 山崎製パン総合クリエイションセンター
協 力 山崎製パン株式会社

《ご挨拶》

市川交響楽団協会 理事長 時田 雄

本日は市川交響楽団協会主催の「第12回フレンドシップコンサート」にご来場いただき、ありがとうございます。今回もここ「山崎製パン総合クリエイションセンター」内に併設された「飯島藤十郎社主記念LLCホール」を会場としてご提供いただき演奏会が開催できます。事山崎製パン株式会社様をはじめ多くのご協力をいただいた関係者の皆様に市川交響楽団協会を代表して深く御礼申し上げます。

本ホールの名称「LLC」とは「Life(生命)、Light(光)、Creation(創造)」を表しているとのお話を伺っております。私共、市川交響楽団協会が実践しております「クラシック音楽を通じての地域振興活動」のもと、この「LLCホール」により多くの市川市民のみなさまが、本日の演奏会をご鑑賞いただけるよう企画、準備を致しました。早春の季節のフレンドシップコンサートをごゆっくりお楽しみください。

本日のプログラム

◇エルガー： 弦楽四重奏曲 作品83 ホ短調

第1楽章 Allegro moderato

◇ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 Op59-2 ラズモフスキイ第2番 ホ短調

第1楽章 Allegro

第4楽章 Presto

◇ホフマイスター：フルートカルテット 作品H.5929 Number4 ハ短調

第1楽章 Allegro

第2楽章 Andante

第3楽章 Allegro non molto

◇シューベルト：ピアノ五重奏曲「鱈」^{ます} D667 イ長調

第1楽章抜粹 Allegro vivace

第4楽章 Andantino-Allegretto

♪ ♪ ♪ 休 憩 ♪ ♪ ♪

◇バッハ： ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲 BWV1060 ハ短調

Solo: Violin 三原 明人 Oboe 二村 直子

第1楽章 Allegro

第2楽章 Adagio

第3楽章 Allegro

◇ウォーロック： カプリオール組曲

1. Basse-Danse Allegro moderato

2. Pavane Allegretto, ma un poco lento

3. Tordion Con moto

4. Bransles Presto

5. Pieds-en-l'air Andantino tranquillo

6. Mattachins (Sword Dance) Allegro con brio

お願い

- ・会場内では、会話はできるだけお控えください。
- ・携帯電話等、音の鳴る機器は電源を切るかマナーモードに設定してください。
- ・演奏中にお子様の落ち着きがなくなった場合は一度ロビーに出られて様子を見て再入場されるようお願いします。
- ・客席、ロビー以外は立ち入りできません。

プロフィール 指揮&Solo 三原明人（みはら あきひと）



東京生まれ。幼少よりヴァイオリン、ピアノ、作曲を始め、東京芸術大学音楽学部器楽科でヴィオラを、桐朋学園大学及びウィーン国立音楽大学で指揮法を学ぶ。

芸大在学中に作曲された「ヴィオラとオーケストラのためのプレリュード」(1983)は作曲者の独奏により初演され、同年のN響機関紙「フィルハーモニー」誌上にて紹介された。ヴィオラの奏者としてピアニストのピーター・ゼルキンやチェリストのフレッド・シェリーと室内楽で共演、ニューヨーク・カーネギーホール主催の現代日本作品演奏会に出演。サイトウ・キネン・オーケストラのヨーロッパ・ツアーやにも参加した。1989年オランダで行われたキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールで第2位入賞し、オランダ放送フィルを指揮してアムステルダムにてデビュー。

1996年ポルトガルで行われた里斯ボン国際指揮者コンクールで第3位入賞(1位なし)。ウィーンフィルのコンサートでレナード・バーンスタインのアシスタント、ベルリンフィル来日公演でクラウディオ・アバドのアシ

スタントを務めるなど研鑽を積みながらヨーロッパと日本を中心に各地で活躍、数多くのオーケストラを指揮している。現在は東京音楽大学にて後進の育成にも努めており、また自らオーケストラやアンサンブルを主催するなど大変意欲的な活動を展開している。東京音楽大学指揮科および同大学院講師。

中学～高校時代に市響ジュニアオーケストラ創設時の初代コンサートマスターを務め、芸大卒業まで市響団員としてヴァイオリン及びヴィオラで演奏に参加。その後何度も市響の指揮台に立つなど、市響とは長く深く関わっている。

♪三原先生よりフレンドシップコンサートへのメッセージ♪

市響メンバーの技術的トレーニングのために始まったフレンドシップ・コンサートですが毎年開催される度に皆さんのレベルアップは著しく、オーケストラ全体の質の向上にも大きな貢献をしていることは誠に嬉しい限りです。

オーケストラとは拡大された室内楽であり、室内楽とは一人ずつ違う音楽的ビジョンを持った演奏家たちがお互いをぶつけ合い、共有し、影響を与え合いながら一つの作品を創り上げるもの。こうした作業を通して演奏者は積極的に演奏に参加することになり、自らの主張を音楽で表明出来るようになってきます。このことはオーケストラの演奏に於いても大変重要で、単に指揮者からの一方的な指示に盲目的に従うのではなく、指揮者が掲げる理想を理解した上で自分たちの音楽的ビジョンも達成させるという共同作業が出来るようになるのです。

一方、本来の室内楽は気心の知れた音楽仲間たちが家庭など文字通り室内で楽しむためのものであり、そうした楽しみも感じていただければと思います。

三原 明人

プログラムノート

エドワード・エルガー 弦楽四重奏曲 第1楽章

Edward Elgar: 1857-1934

♪♪ ペルル カルテット ♪♪

Violin1 早川 貴子 **Violin2** 溝田 範子 **Viola** 本郷 尚子 **Cello** 倉澤 倫子

この曲は、戦争で健康を損ねていたエルガーが、愛妻アリスとの静養の地、イギリス南部サセクス州の自然豊かな環境の中で再び創作意欲を取り戻し作曲した幾つかの室内楽曲の大作のうちの一曲です。

弦楽四重奏曲は、若い頃チャレンジしましたがどれも未完で、完成されたものはエルガーが60歳を過ぎた1918年作曲のこの一曲のみです。

今回演奏する第一楽章は、厳しさの中にも哀愁漂う優しさが垣間見えます。各々の楽器の緻密な重なり合いと、表情の変化を感じられる演奏が目標です！

また、アリスが特に気に入っていた穏やかな曲調の第二楽章も、私達のいつか弾きたい曲リスト中の一つです。やりたい曲たくさん(笑)。頑張ります。

文：早川 貴子

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

弦楽四重奏曲 Op59-2 ラズモフスキイ第2番 第1，4楽章

Ludwig van Beethoven: 1770-1827

♪♪ ブラームス カルテット ♪♪

Violin1 大橋 一郎 **Violin2** 皆合 愛子 **Viola** 大橋 かおる **Cello** 福原 耕二

私たちはブラームスとベートーヴェンが好きで、名前の由来にもなっています。今回はラズモフスキイ伯爵の依頼により作られた弦楽四重奏曲の3曲うちの第2番を演奏いたします。長調で明るい他の2曲と比べて、渋いのがこの曲の特徴です。

♪第1楽章 f の力強い2つの和音に続いて pp の第1バイオリンの主題で始まります。
熱情的かと思えば繊細で優美なメロディーに入れ替わる、このギャップが魅力的です。

♪第4楽章 本当にベートーヴェン？これまでの気分を一掃してうって変わった明朗な楽章で、馬に乗って草原を駆け巡るイメージが思い浮かべられます。
本日は爽快に完奏して、いい汗かきたいと思います。

文：大橋 かおる

フランツ・アントン・ホフマイスター

フルートカルテット 作品H.5929 Number4 第1, 2, 3楽章

Franz Anton Hoffmeister:1754-1812

♪♪ アンサンブル コンフォルタ ♪♪

Flute 二木 陽子 **Violin** 時田 枝里子 **Viola** 園田 陽子 **Cello** 倉澤 優子

1754年、ドイツのロッテンブルク・アム・ネッカーで生まれ、14歳で法律を学ぶために
ウィーンへ行きますが、勉学に励むうちに音楽で生きていくことを決め、ウィーンで最も
人気のある作曲家の一人となりました。それと同時に音楽出版社としてのビジネスも手掛け、
ハイドン、モーツアルト、ベートーヴェンなどの当時から重要な作曲家の作品を出版
しています。この設立された出版社はのちにペーターズ出版社の一部となりました。

本日演奏する曲は、力強いシンコペーションが印象的な1楽章、純粋なセレナードである
2楽章、テーマにユーモラスなシンコペーションのアクセントを加えた3楽章は変奏曲であ
り機知に富んだ軽快な変化が見られます。

文：園田 陽子

フランツ・ペーター・シューベルト

ピアノ五重奏曲「鱈」 第1楽章（抜粹），4楽章

Franz Peter Schubert:1797-1828

♪♪ フエリーチェ クインテット ♪♪

Violin 立田 祥子 **Viola** 内田 綾美 **Cello** 福原 耕二
Bass 上村 啓介 **Piano** 鈴木 珠美

昔、鱈づくしの料理を頂いたのですが、鮭のように身が赤かったのに驚きました。

海に行く鱈や鮭は食べ物(オキアミ)の色で赤くなる白身魚、繊細な魚なんですね。

第4楽章が歌曲「鱈」の主題を用いた変奏曲なのでこの曲は「鱈」と呼ばれています。

歌曲「鱈」は川を濁らせる作戦で釣り人に釣り上げられてしまう鱈に対する警告であると
ともに、若い女性にズるい男に気を付けるという意味が込められていると言われています。

元気な鱈と釣り人の寓話に加え、ピチピチの女性の様子も感じて頂ければと思います。

繊細なこの曲、おいしそうな色に仕上がるよう頑張ります(by シェフ一同)

そして、皆様、口のうまい男にはお気を付けてください。

文：上村 啓介

ヨハン・セバスティアン・バッハ
ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲 BWV1060

Johann Sebastian Bach: 1685-1750

「ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲」の原曲は、18世紀前半にバッハが作曲した曲で、実はオリジナルの楽譜は残っていませんでした。しかし幸い、2台のチェンバロ用に書き直した楽譜は残っていたのです。原曲は二つの旋律楽器が何かさえも分かっていましたが、後年の研究で「2台のヴァイオリンのための協奏曲」や本日演奏する「ヴァイオリンとオーボエとのための協奏曲」が復元されました。また調性には「ハ短調」「二短調」の両説がありますが、今回は「ハ短調」です。では、原曲の二つの旋律楽器は何だったのか？そして調性は？ 謎はますます深まりますが・・・。

まずは、本日の演奏をお聞き下さい。全3楽章の構成で、形式的には急（アレグロ）- 緩（アダージョ）-急（アレグロ）。バッハが構築した対位法の中で歌うヴァイオリンとオーボエの音色の対比と絡み合いが絶妙です。

少しでもバッハのすばらしさを感じて頂ければ幸いです。

文：山本 芳功

Solo Violin 三原 明人 Solo Oboe 二村 直子

Violin 1 渡辺 紹介 佐藤 薫

Violin 2 秋葉 直子 山本 芳功

Viola 谷口 善樹 星 乘明

Cello 八重樫 妙子

Bass 小林 真弓

Cembalo 山内 静

ピーター・ウォーロック カプリオール組曲

Peter Warlock :1894-1930

ピーター・ウォーロックはペンネームで（ウォーロックは「魔法使い」という意味）、本名は、フィリップ・ヘゼルタインといい、本職はむしろ音楽評論家、古楽研究家でありました。作曲を独学で学び、ルネサンス音楽からバルトークまで幅広い音楽を好み、100曲に及ぶ歌曲と、数曲の器楽曲を残しました。金銭的にあまり恵まれておらず、うつ病も患っていたとされており、36歳の若さで、ガス中毒により死亡するという数奇な運命をたどっています。カプリオール組曲は、バロック時代の舞曲の体系化に関する本（オルケゾグラフィ）の翻訳を任されたことをきっかけに、古典的舞曲の様式を取り入れ、1927年に組曲として作曲されたもので、彼の作品の中でもっとも有名な器楽曲です。「カプリオール」はダンスの動作の一つである「ジャンプして足を前後に開く動作」を指します。

組曲は、以下の6つの曲からなります。

- ①Basse-Danse (フランス語源「低い踊り」、男女のペアが行列を作り、抑圧された雰囲気の中で、足を滑らすように踊る)
- ②Pavane (イタリア起源、男女ペアが威厳のある行列を作り踊る)
- ③Tordion (16世紀のフランスの踊り)
- ④Bransles (フランス語の「揺れる」が語源、男女が輪になって左回りに踊る)
- ⑤Pieds-en-l'air (フランスのダンス用語、重心を片足にかけもう片方の足は空中にある状態)
- ⑥Mattachins (Sword Dance) (剣と盾がぶつかり合う様を模した踊りで、ウォーロックが尊敬したバルトークのような不協和音の衝突がある)

文：倉澤 由和

Violin1

立田 祥子 石崎 俊信 大橋 一郎 皆合 愛子
桑原 啓輔 佐藤 薫 時田 枝里子 溝田 範子
渡辺 紹介

Violin2

秋葉 直子 石本 恵理 岩田 徳子 羽深 理絵
早川 貴子 服部 恵子 牧田 太郎 山本 芳功

Viola

谷口 善樹 大橋 かおる 園田 陽子 星 乘明
本郷 尚子

Cello

八重樫 妙子 泉谷 良枝 倉澤 優子 中村 公一

Bass

小林 真弓 番場 仙嘉

市川交響楽団

2021年に創立70周年を迎えたアマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。メンバーは現在100余名で年齢構成は20代から80代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地の文化行事やオーケストラ・フェスティバル等にもしばしば招かれ演奏を披露している。著名な音楽家との共演も数多く経験している。

特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽芸術の振興に多大な貢献をしている。市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する市川交響楽団協会の中核として“クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう”をモットーに、常に積極的な活動を展開している。

今後の演奏会のご案内

《会場はいずれも市川市文化会館大ホール・入場料無料》

3月31日（日）15:30開演
第40回 市川市洋舞踊合同公演
with 市川交響楽団 出演協力

*クラシック作品からポピュラー音楽まで市響のオーケストラ伴奏でバレエ、ダンスの公演がお楽しみ頂けます

*お問合せは市川市洋舞踊協会
ichikawa.youbu@gmail.comまで

5月5日（日・祝）14:00開演
市響ジュニア 第46回定期演奏会

*子供の日恒例の市響ジュニアコンサートも第46回を迎えました
*昨年から展開しているオーケストラ体験生による演奏披露も企画中です
ホルスト/組曲「惑星」から「木星」
ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」他

7月21日（日）第434回市響「交響楽の午後」 14:00開演

指揮：澤村杏太郎氏<受賞記念演奏会>
(第3回市川市文化振興財団芸術文化奨励賞)

モーツァルト/オペラ「フィガロの結婚」序曲
ロッシーニ/オペラ「セビリアの理髪師」序曲
ヴエルディ/オペラ「運命の力」序曲

レスピーギ/交響詩「ローマの祭」

第12回フレンドシップコンサート実行委員

内田 綾美 上村 啓介 倉澤 優子 谷口 善樹
本郷 尚子(プログラム)